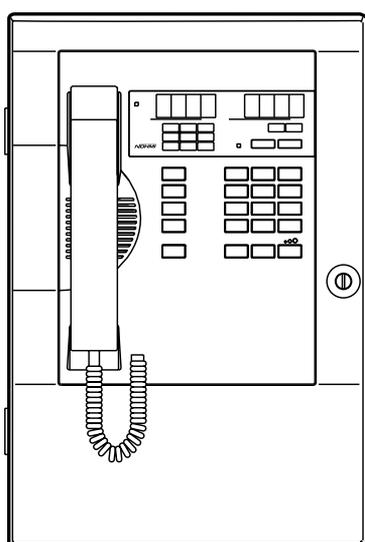




# お客様用 取扱説明書



## 集合住宅システム 管理室通話映像盤 (HCVNJ 002-R-100シリーズ) 管理室制御盤 (HCNJ001-R/-R-P)

### 目次

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 設備された機器の構成               | 2   |
| 各部の名称とはたらき               | 3   |
| ご使用方法(インターホン機能)          |     |
| ■各住戸から呼出しを受けた場合          | 4   |
| ■呼出しを受けてもこちらが不在の場合       | 4   |
| ■住戸を呼出す場合                | 4   |
| ■呼出した住戸が不在の場合            | 4   |
| ■集合玄関機から呼出しを受けた場合        | 5   |
| ■オートロックを解錠する場合           | 5   |
| 住戸の緊急呼出しと放送              |     |
| ■住戸を緊急呼出しする場合            | 6   |
| ■警報中の住戸を呼出す場合            | 6   |
| ■各住戸へ一斉に放送する場合           | 6   |
| ■指定した住戸(1戸)へ放送する場合       | 6   |
| 警報時の動作と対応                |     |
| ■警報時の管理室(通話映像/制御)盤の表示と動作 | 7   |
| ■警報を受信した場合               | 7   |
| ■発生した異常の処置が済んだ場合         | 7   |
| ■住戸の警報音を止める場合            | 7   |
| 盤内での設定が必要な機能             |     |
| ■盤内のデジタル表示               | 8   |
| ■時刻の設定方法                 | 8~9 |
| ■オートロック解錠用暗証番号の設定        | 9   |
| ■暗証番号の時刻設定               | 9   |
| ■エラーコード表                 | 10  |
| 故障機器遮断の設定と解除             | 11  |
| 機器定格                     | 11  |
| 日常のお手入れについて              | 12  |
| 定期交換部品について               | 12  |
| アフターサービスについて             | 12  |

### 警告

製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも製品の不明点を解決できるように大切に保管してください。



### ■安全上のご注意

安全にお使いいただくために、下記の**警告** **注意**を必ずお守りください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷や傷害を負うか機器の機能に重大な影響を及ぼす可能性が想定されます。



機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。



機器に液体(水、洗剤、飲み物など)を入れたり、ぬらさないようにしてください。感電・故障・発火の原因となります。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うか機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定されます。



お手入れにはシンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。機器の表面を傷めたり変色の原因となります。



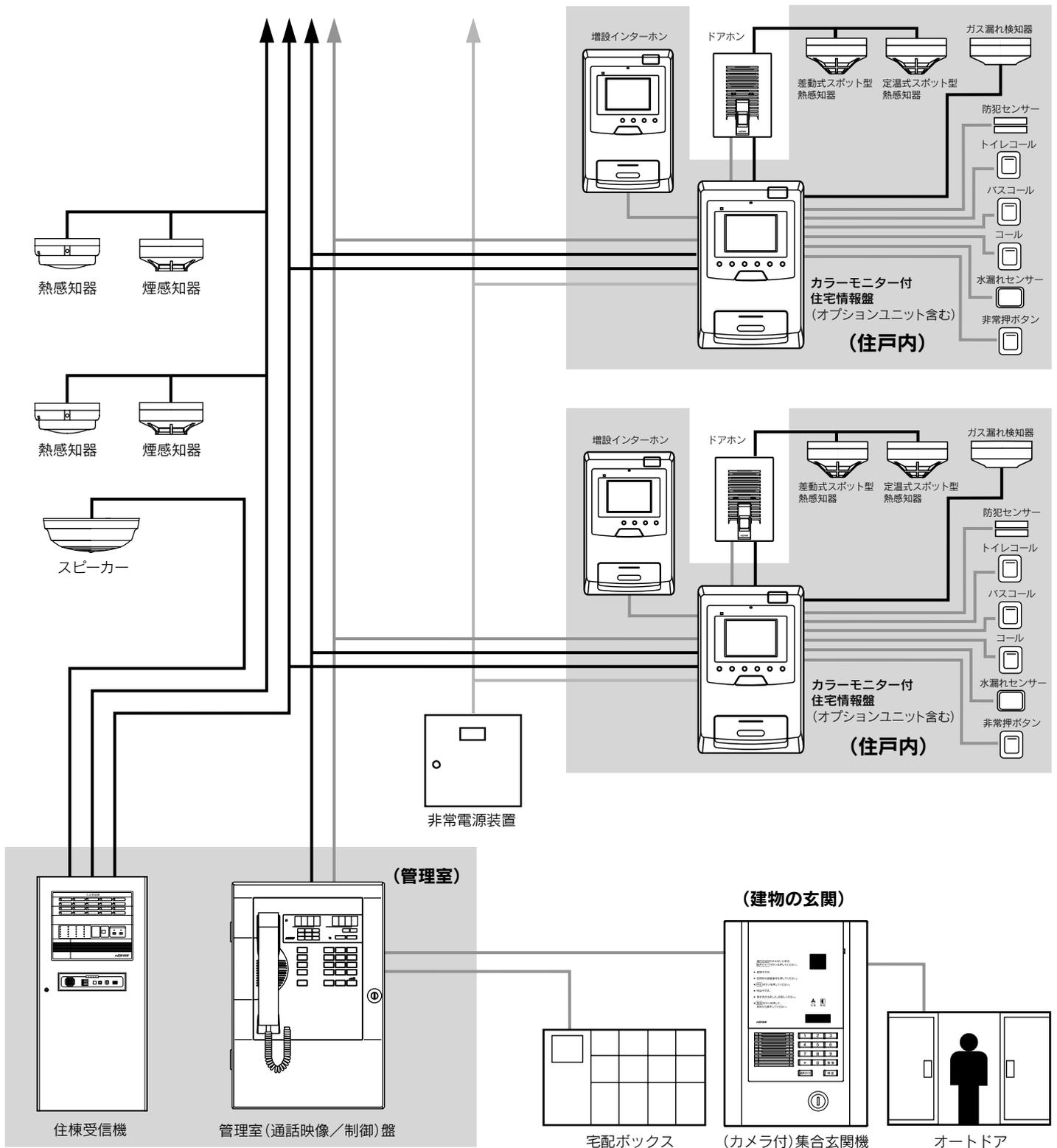
携帯電話、無線機などを近くで使用すると、誤動作の原因となることがあります。

## ■ 設備された機器の構成

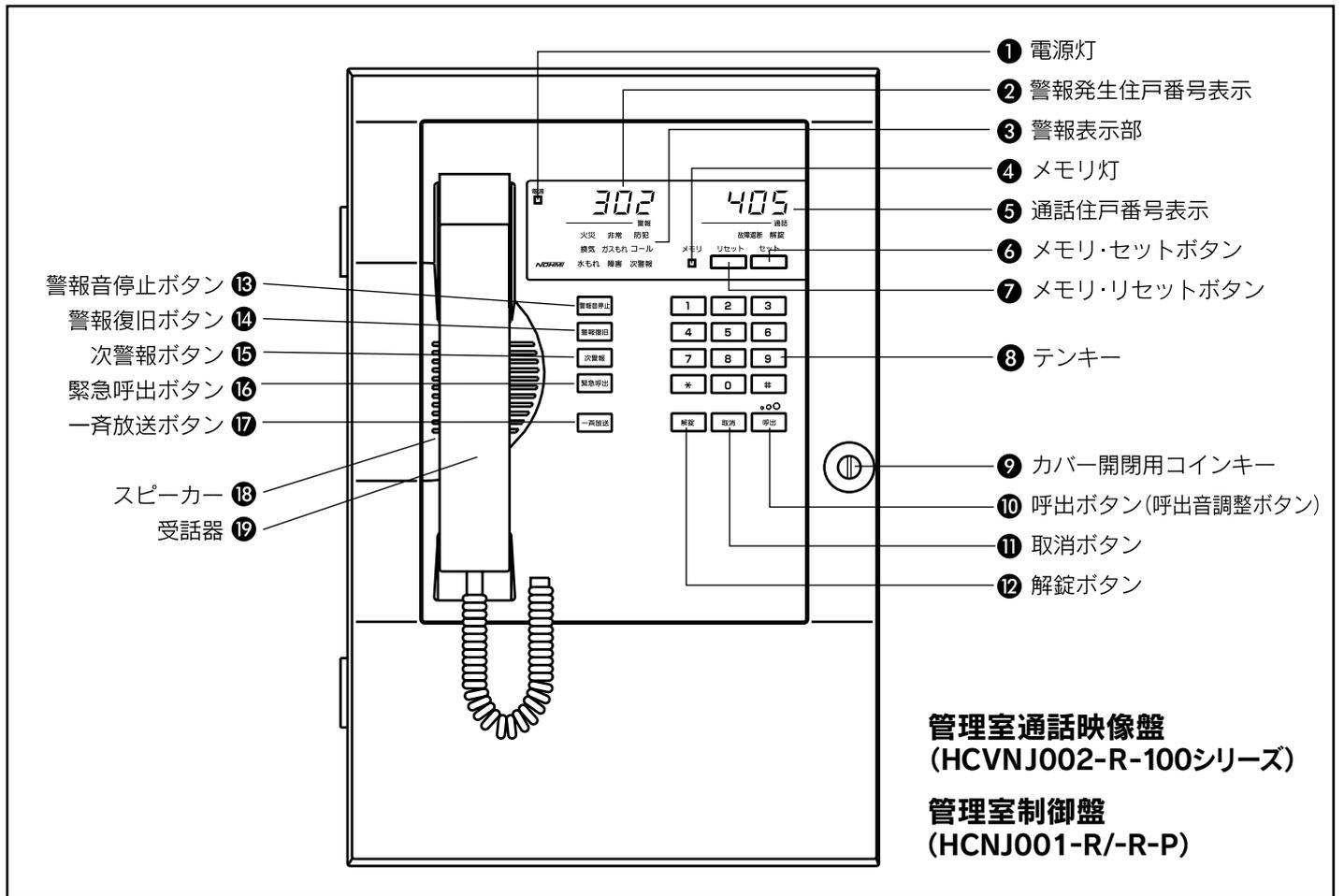
設置された管理室(通話映像/制御)盤は、通話機能として・住戸の住宅情報盤・建物の集合玄関機と通話ができます。さらに放送機能として、指定住戸の住宅情報盤へ個別に、または全住戸へ一斉に放送することができます。

また、セキュリティー機能として、各住戸の・火災警報・ガスもれ警報・非常通報・防犯警報の各警報および・トイレコール・バスコール・コール・水漏れセンサーなどの異常通報を受信して、「どこの住戸でどのような異常が発生したか」を確認できる機能が備わっています。

※これらの機能は、設備されるシステムにより使用できないものもあります。使用できる機能については、下図のシステム例および、施工工事店の設備説明書を参考に、設備されている機器をご確認ください。



# 各部の名称とはたらき



- ①電源灯……………電源が入っている時、緑色に点灯します。
- ②警報発生住戸番号表示窓…異常が発生し、警報を発生した住戸番号を表示します。
- ③警報表示部……………システムが作動すると、機能に応じた警報を文字で表示します。
- ④メモリ灯……………メモリがセットされた時、緑色に点灯します。
- ⑤通話住戸番号表示窓……………通話相手の住戸番号(その他通話機器の番号など)を表示します。
- ⑥メモリ・セットボタン……………各住戸が不在で通話ができない場合、相手の住宅情報盤に管理室から呼出しがあったことを表示する時に押します。
- ⑦メモリ・リセットボタン……………一旦セットしたメモリーを消去する場合、(相手の住戸番号をテンキーで入力してから)このボタンを押します。または、メモリセット確認後、リセットを行うとメモリーを消去できます。
- ⑧テンキー……………通話相手の住戸番号など、数字の入力に使用します。
- ⑨カバー開閉用コインキー……………点検などでカバーを開ける時に使用します。
- ⑩呼出ボタン……………通話する場合、相手の住戸番号を入力してからこのボタンを押します。(受話器を取らずに、このボタンを押すと呼出音が調整できます。)
- ⑪取消ボタン……………テンキーの誤入力時に使用します。
- ⑫解錠ボタン……………オートロックの電気錠を解錠する時に押します。
- ⑬警報音停止ボタン……………警報音を停止する時に押します。
- ⑭警報復旧ボタン……………警報内容を確認・処置し、安全を確認してから、平常の監視状態に戻す時に押します。
- ⑮次警報ボタン……………次警報灯が点灯している場合、このボタンを押すと、次の警報が表示されます。
- ⑯緊急呼出ボタン……………緊急時に呼出したい住戸が通話中の場合、このボタンを押すと、割り込み通話ができます。また、本機が住戸からの警報を表示している時は、その住戸の住戸番号を入力しなくても、このボタンを押して、相手が通話/終話ボタンを押すとつながります。  
※住戸の住宅情報盤が警報音を発している時は、このボタンは機能しません。
- ⑰一斉放送ボタン……………全住戸の住宅情報盤に放送する場合、このボタンを押して、受話器の声を放送します。(住戸の住宅情報盤では、内蔵のスピーカーが鳴るため、通話/終話ボタンを押す必要がありません。)  
※住宅情報盤が警報音を発している住戸には、一斉放送できません。
- ⑱スピーカー……………呼出し、警報に使用します。
- ⑲受話器……………通話する時に使用します。

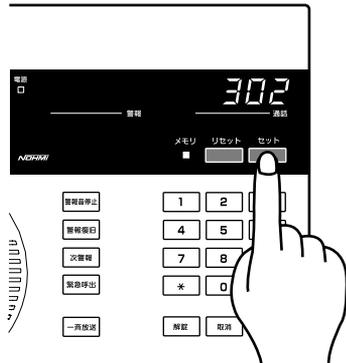
# ■ご使用方法(インターホン機能)

管理室(通話映像/制御)盤は、各住戸、集合玄関機と通話ができます。



## ■各住戸から呼出しを受けた場合

- ◆チャイム音(ピンポンパン)が鳴ります。
- 通話住戸番号表示窓に住戸番号が点滅表示され、受話器を取り上げると、住戸番号が点灯表示に変わり、通話できます。
- 通話が終わったら受話器を戻します。
- ◆表示は消えます。



## ■呼出しを受けてもこちらが不在の場合 「メモリーメッセージ」

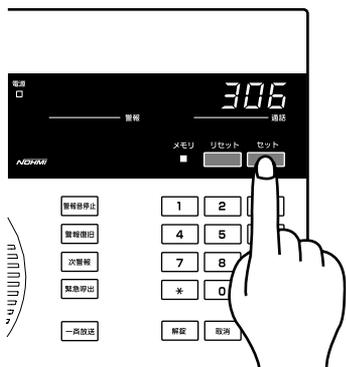
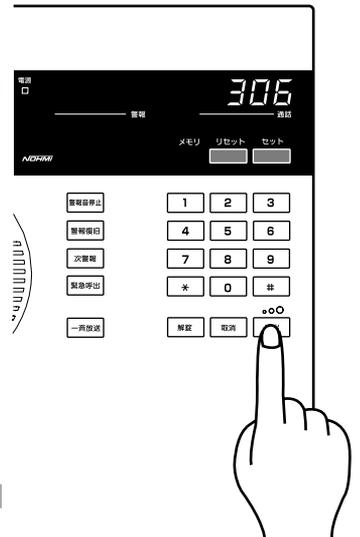
各住戸から呼出しがあった時に不在の場合(約10秒間呼出しが続く)、本機に呼出しがあった事が記憶されます。  
(複数の住戸から呼出しがあった場合、20件まで記憶できます)

- ◆メモリ灯が点灯します。
  - (受話器を取り上げずに)メモリ・セットボタンを押すと、呼出しのあった住戸番号が表示されます。
  - 通話する場合は、受話器を取り上げ、呼出ボタンを押します。  
(相手が出ると通話できます)
- ※メモリーは呼出しのあった住戸と通話するまで消えません。



## ■住戸を呼出す場合

- 受話器を取り上げ、住戸番号をテンキーで入力します。
- ◆住戸番号が表示されます。
- 呼出ボタンを押します。  
(相手が出ると通話できます)
- 通話が終わったら受話器を戻します。
- ◆表示は消えます。



## ■呼出した住戸が不在の場合「メモリーメッセージ」

住戸を呼出してもし出られずに通話できない場合、相手の住宅情報盤に用件(メッセージ)がある事を表示できます。

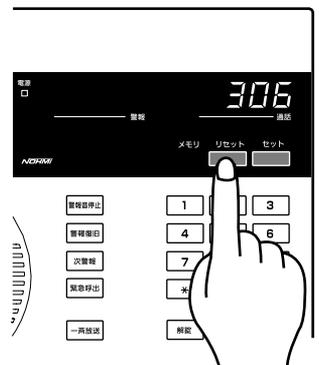
- 呼出した住戸が出ない場合、メモリ・セットボタンを押します。
- ◆メモリ灯が点灯します。
- ◆相手の住宅情報盤では、管理室灯が点灯し、管理室から用件がある事が分かります。
- 受話器を戻して住戸からの呼出しを待ちます。

### (A)メモリ・セットした住戸を確認する場合

- 受話器を取り上げ、メモリ・セットボタンを押すと住戸番号が表示されます。

### (B)用件が不要となり、メモリーを消去する場合

- 受話器を取り上げ、メモリーメッセージを解除する住戸番号をテンキーで入力します。  
または、受話器を取り上げ、メモリ・セットボタンを押して、住戸番号を表示させます。
- メモリ・リセットスイッチを押します。





# 住戸の緊急呼出しと放送

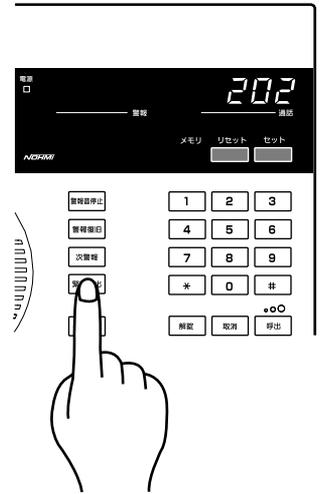
管理室(通話映像/制御)盤には、緊急時に呼出したい住戸が通話中であっても、割り込みをして通話できる機能および、住戸の住宅情報盤のスピーカーから一斉または個別に放送できる機能があります。(放送機能は、各住戸では住宅情報盤のスピーカーから音が聞こえますので、受話器を取る必要がありません。)

※ただし、これらの機能は、異常が発生し、住宅情報盤が警報音を発声している住戸には使用できません。



## 住戸を緊急呼出しする場合(割り込み通話)

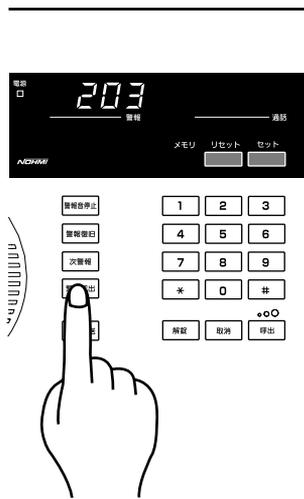
- 受話器を取り上げ、住戸番号をテンキーで入力します。
- ◆通話住戸番号表示窓に住戸番号が表示されます。
- 呼出ボタンを押して、「ツーツー」というお話し中の音が聞こえた場合、受話器を戻し、再度受話器を取り上げ、住戸番号をテンキーで入力します。
- 緊急呼出ボタンを押します。  
(通話中に割り込み、通話できます)



## 警報中の住戸を呼出す場合

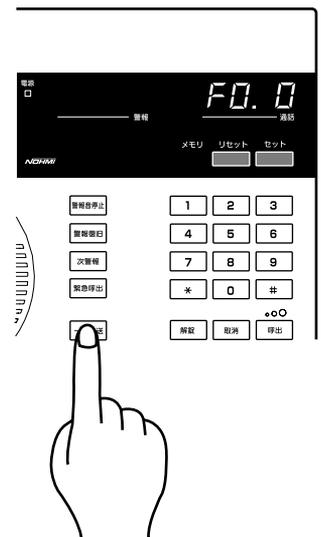
住戸で異常が発生し、管理室(通話映像/制御)盤の警報発生住戸番号表示窓に住戸番号が表示されている場合

- 受話器を取り上げ、緊急呼出ボタンを押します。  
(相手が出ると通話できます)
- ※住宅情報盤の警報音が鳴っている時は、使用できません。  
警報音を停止してから操作してください。  
(P.7 ■住戸の警報音を止める場合)を参照ください。



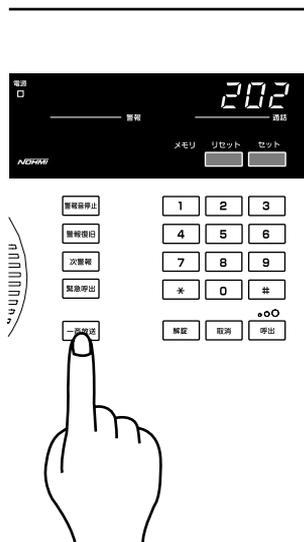
## 各住戸へ一斉に放送する場合

- 受話器を取り上げ、[\*][0][0]を押します。
- 一斉放送ボタンを押します。
- ◆「ポーン」という確認音が受話器から聞こえた後、受話器で話す声が各住戸の住宅情報盤のスピーカーから放送されます。  
※住宅情報盤の警報音が鳴っている住戸には、放送は聞こえません。



## 指定した住戸(1戸)へ放送する場合

- 受話器を取り上げ、[\*][3]に続きテンキーで住戸番号を入力します。
- ◆通話住戸番号表示窓に住戸番号が表示されます。
- 一斉放送ボタンを押します。
- ◆「ポーン」という確認音が受話器から聞こえた後、受話器で話す声が指定した住戸の住宅情報盤のスピーカーから放送されます。  
※住宅情報盤の警報音が鳴っている時は、使用できません。



住戸から発せられる一斉放送の音量を確保するため、通話住戸番号表示窓にて目安となるレベル(5段階)を表示する機能を有しています。

- 適正レベルを維持できるよう受話器に向かって話しかけてください。

(適正レベル)

BBBB BBBB B000 B000 B000

音量・大



## ■警報時の動作と対応

各住戸で異常が発生した時、住宅情報盤からの通報を管理室(通話映像/制御)盤が受信すると、警報音、音声警報が鳴り、警報内容を示す表示灯とともに、発生した住戸番号が表示されます。

また警報時、異常が発生した住戸ではドアホンの警報灯が赤く点滅し、「火災、ガスもれ、非常通報、防犯」の各警報を警報音と音声警報にて知らせます。警報時は異常の内容を把握し、適切な対応をしてください。

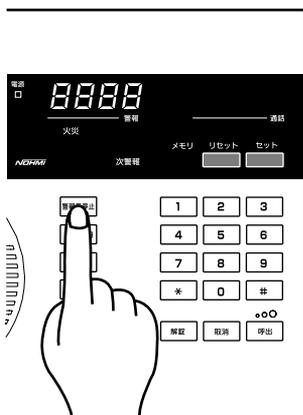


### ●警報の優先順位

複数の警報を同時に受信した時は、火災・ガスもれ(非常)防犯)換気・水もれ・トイレコール・バスコール)火災感知器線断線・ガス漏れ検知器線断線・伝送異常の順に警報、表示します。

## ■警報時の管理室(通話映像/制御)盤の表示と動作

| 警報内容       | 表示灯           | 警報音・音声警報                                    |
|------------|---------------|---|
| 火災発生       | 火災<br>(赤)点灯   | ファンフォン ファンフォン<br>ファンフォン<br>〇〇〇号室で火災が発生しました。 |
| ガスもれ       | ガスもれ<br>(黄)点灯 | ピッピッピッピッピッ<br>〇〇〇号室でガスもれです。                 |
| 非常通報       | 非常<br>(赤)点灯   | ピーポー ピーポー ピーポー<br>〇〇〇号室で緊急事態発生。             |
| 防犯警報       | 防犯<br>(赤)点灯   | ピーポー ピーポー ピーポー<br>〇〇〇号室で防犯装置が作動しました。        |
| 換気警報       | 換気<br>(赤)点灯   | ピーピーピー<br>〇〇〇号室で換気警報発生。                     |
| 水もれ        | 水もれ<br>(赤)点灯  | ピーピーピー<br>〇〇〇号室で水もれです。                      |
| コール        | コール<br>(赤)点灯  | ポッポッポッ<br>〇〇〇号室でコール警報発生。                    |
| バスコール      | コール<br>(赤)点灯  | ポッポッポッ<br>〇〇〇号室のお風呂に来てください。                 |
| トイレコール     | コール<br>(赤)点灯  | ポッポッポッ<br>〇〇〇号室のトイレに来てください。                 |
| 火災感知器線断線   | 障害<br>(赤)点灯   | ピー<br>〇〇〇号室の配線を確認してください。                    |
| ガス漏れ検知器線断線 | 障害<br>(赤)点灯   | ピー<br>〇〇〇号室の配線を確認してください。                    |



## ■警報を受信した場合

◆管理室(通話映像/制御)盤から警報音、音声警報が鳴り、警報表示部に発生住戸番号と警報内容が表示されます。

**対応** 警報音、音声を止めるには、警報音停止ボタンを押します。

※次警報灯が点灯している時は、複数の通報がある場合です。  
次警報ボタンを押すと、順次、住戸番号と警報内容が表示されます。

異常の内容を把握して適切な対応をしてください。

## ■発生した異常の処置が済んだ場合

●警報復旧ボタンを押します。

※警報音、音声を止めないと、警報復旧できません。

◆警報システムは、平常の監視状態に戻ります。

## ■住戸の警報音を止める場合

●受話器を取り上げ、[\*][7]に続きテンキーで住戸番号を入力します。

※警報音、音声を止めないと、警報復旧できません。

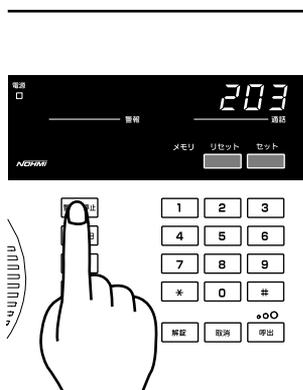
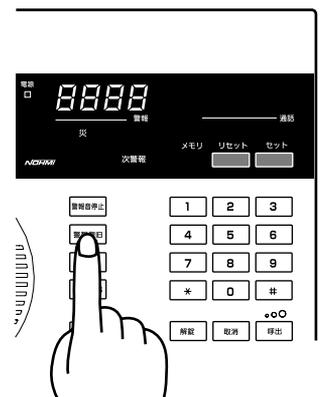
◆通話住戸番号表示窓に住戸番号が表示されます。

●警報音停止ボタンを押します。

◆指定した住戸の警報音が停止します。

※火災、ガスもれ警報は止められません。

※警報音を止める場合には、現場をご確認のうえ、止めてください。

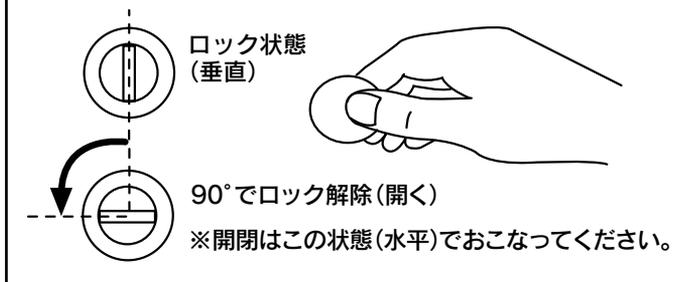


## ■盤内での設定が必要な機能

管理室(通話映像/制御)盤は、施工時にシステムの機能設定は済んでいますが、・内蔵時計の時刻(3日以上停電があったような場合)、・オートロックの解錠用暗証番号などは、必要に応じてカバーを開けて設定してください。  
また、・本機が作動しない、・集合玄関機から住戸へ、または管理室から住戸等への通話・呼出しができない、・住宅情報盤の警報が管理室へ伝わらないなどの異常が発生した場合も、カバーを開けてデジタル表示で故障内容を確認してください。

### カバー開閉用コインキーの使用法

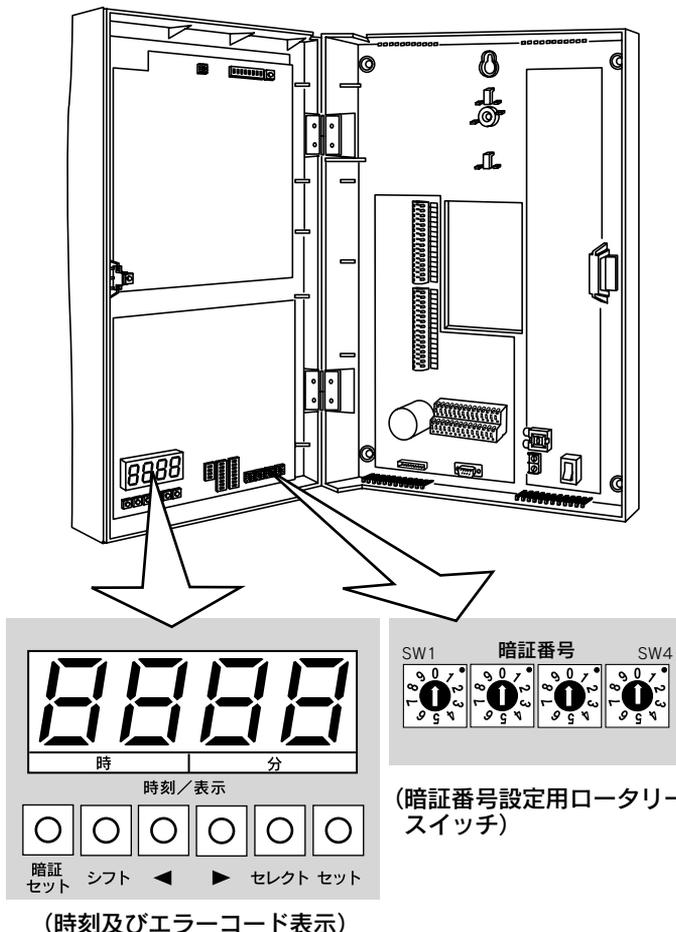
- コインキーの開閉は、硬貨等を使ってください。
- 押しながら左に90°回転させるとロックが外れます。
- 閉じる場合は、必ず開けた時の状態(90°回した状態)でカバーを閉じて、コインキーを押しながら回してロックしてください。



### ■盤内のデジタル表示

パネル左下にある4桁のデジタル表示を確認してください。

- ◆平常時は、現在の時刻を表示します。
- ◆異常発生時は、エラーコード(別表)を表示します。
- ※複数のエラーが重なって出ている時は下にある「シフト」スイッチを押すとスクロールします。
- ※エラー表示されている場合は、時刻設定、暗証番号時刻設定ができません。



### ■時刻の設定方法

内蔵時計の時刻設定は、4桁のデジタル表示とスイッチによりおこないます。



時刻設定は、年(西暦下二桁)、月、日、時、分があり次の手順によりおこないます。

#### 1.年の設定

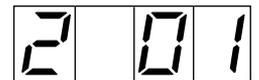
- 1 セレクトスイッチを1回押します。
- 2 図のようにデジタル表示「1□○○」が表示されます。  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている年
- 3 年を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押し。  
「▶」: 桁下げ時押し。(00~99までが設定できます)
- 4 年を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した年のままになります)



(2007年が設定されている時)

#### 2.月の設定

- 1 図のようにデジタル表示「2□○○」が表示されます。  
(年を設定しない時はセレクトスイッチを2度押し)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている月
- 2 月を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押し。  
「▶」: 桁下げ時押し。(01~12までが設定できます)
- 3 月を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した月のままになります)



(1月が設定されている時)

#### 3.日の設定

- 1 図のようにデジタル表示「3□○○」が表示されます。  
(年・月を設定しない時はセレクトスイッチを3度押し)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている日
- 2 日を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押し。  
「▶」: 桁下げ時押し。(01~31までが設定できます)
- 3 日を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した日のままになります)



(3日が設定されている時)

## 4.時間の設定

- 1 図のようにデジタル表示「4□○○」が表示されます。  
(年・月・日を設定しない時はセレクトスイッチを4度押す)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている時間
- 2 時間を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~23までが設定できます)
- 3 時間を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります)



(午後3時が設定されている時)

## 5.分の設定

- 1 図のようにデジタル表示「5□○○」が表示されます。  
(年・月・日を設定しない時はセレクトスイッチを5度押す)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている時間
- 2 分を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~59までが設定できます)
- 3 分を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります)



(15分が設定されている時)

設定が完了したら、そのまま約10秒間待つと「設定した時刻」が表示されます。

(注意)

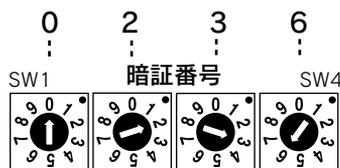
設定中に約10秒間スイッチを操作しない状態が続いた場合も「時刻表示」になります。  
「◀」または「▶」スイッチを1秒以上押し続けると桁上げまたは桁下げの数字が早く変わります。

## ■オートロック解錠用暗証番号の設定

建物入口の集合玄関機のオートロックは、キーを使用して解錠する他に、暗証番号を入力して開けることもできます。  
暗証番号は4桁の数字で、デジタル表示の右側にあるロータリースwitchにより設定します。

- 設定用ロータリースwitchには、0~9までの数字があります。付属の専用ドライバー(または精密ドライバー等)を使って設定してください。  
(図は暗証番号を「0236」に設定した例を示します。)

- オートロックを暗証番号で解錠しない場合は、番号の設定を「0000」にしてください。



## ■暗証番号の時刻設定

暗証番号は、時間によりオートロックを解錠できますが、その時間帯は次のように設定します。

(注意)

0時(午前零時)をまたがる設定はできません。

過った設定例 開始:23時(午後11時) 終了:1時(午前1時)

開始:00時00分 終了:00時00分(初期設定)とした場合、暗証番号は常時有効となります。

## 1.開始時間の設定

- 1 暗証セットスイッチを1回押します。
- 2 図のようにデジタル表示「1□○○」が表示されます。  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている時間
- 3 時間を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~23までが設定できます)
- 4 時間を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります)



(午前4時が設定されている時)

## 2.開始分の設定

- 1 図のようにデジタル表示「2□○○」が表示されます。  
(時間を設定しない時は暗証セットスイッチを2度押す)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている分
- 2 分を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~59までが設定できます)
- 3 分を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります)



(10分が設定されている時)

## 3.終了時間の設定

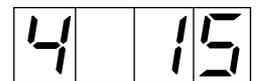
- 1 図のようにデジタル表示「3□○○」が表示されます。  
(開始時分を設定しない時は暗証セットスイッチを3度押す)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている時間
- 2 時間を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~23までが設定できます)
- 3 時間を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した時間のままになります)



(午前6時が設定されている時)

## 4.終了分の設定

- 1 図のようにデジタル表示「4□○○」が表示されます。  
(開始時分、終了時間を設定しない時は暗証セットスイッチを4度押す)  
□: ブランク  
○○: すでに設定されている時間
- 2 分を変更するには「◀」または「▶」スイッチを押します。  
「◀」: 桁上げ時押す。  
「▶」: 桁下げ時押す。(00~59までが設定できます)
- 3 分を決定したら、セットスイッチを押します。  
(セットスイッチを押さないと前に設定した分のままになります)



(15分が設定されている時)

設定が完了したら、そのまま約10秒間待つと「現在時刻」の表示に変わります。

## ■エラーコード表

・本機(管理室通話映像盤、管理室制御盤)が作動しない、・集合玄関機から住戸へ、または管理室から住戸などへの通話・呼出しができない、・住宅情報盤の警報が管理室へ伝わらないなどの異常が発生した場合は、盤内の通話住戸番号表示窓または、盤内のデジタル表示で異常内容を確認してください。異常内容は、次表のエラーコードにより確認できますので、故障が認められた場合は速やかに点検を依頼してください。



(例:ヒューズ断の異常時)

| エラーコード | 異常内容                                     | (盤面における確認) |
|--------|--|------------|
| Er00   | 範囲外の数値を入力                                |            |
| Er01   | 存在していた住戸、管理室、集合玄関機無応答                    |            |
| Er02   | 存在しない住戸番号、管理室(通話映像/制御)盤番号、集合玄関機番号を入力して呼出 |            |
| Er03   | 通話映像装置無応答                                |            |
| Er08   | 短絡検出                                     |            |
| Er09   | 通話映像装置伝送異常                               |            |
| Er14   | ROM異常                                    |            |
| Er15   | RAM異常                                    |            |

| エラーコード | 異常内容          | (盤内における確認) |
|--------|---------------|------------|
| E001   | EEPROM異常      |            |
| E002   | RTC異常         |            |
| E003   | RAM異常         |            |
| E004   | ROM SUM異常     |            |
| E005   | 拡張I/O異常       |            |
| E006   | 宅配ロッカー I/F 異常 |            |
| E007   | コントローラ I/F 異常 |            |
| E008   | 履歴情報 I/F 異常   |            |
| E009   | ヒューズ断         |            |
| E010   | メインマイコン異常     |            |

|      |            |    |
|------|------------|----|
| E011 | スレーブマイコン 1 | 異常 |
| E012 | スレーブマイコン 2 | 異常 |
| E013 |            |    |
| E014 |            |    |
| E015 |            |    |
| E016 |            |    |
| E017 |            |    |
| E018 |            |    |
| E019 |            |    |
| E020 |            |    |

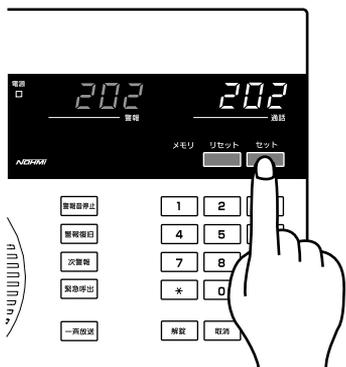
|      |          |     |
|------|----------|-----|
| E021 | 管理室制御盤 1 | 無応答 |
| E022 | 管理室制御盤 2 | 無応答 |
| E023 | 管理室制御盤 3 | 無応答 |
| E024 | 管理室制御盤 4 | 無応答 |
| E025 | 管理室制御盤 1 | 誤応答 |
| E026 | 管理室制御盤 2 | 誤応答 |
| E027 | 管理室制御盤 3 | 誤応答 |
| E028 | 管理室制御盤 4 | 誤応答 |
| E029 |          |     |
| E030 |          |     |

|      |         |     |
|------|---------|-----|
| E031 | 集合玄関機 1 | 無応答 |
| E032 | 集合玄関機 2 | 無応答 |
| E033 | 集合玄関機 3 | 無応答 |
| E034 | 集合玄関機 4 | 無応答 |
| E035 |         |     |
| E036 |         |     |
| E037 |         |     |
| E038 |         |     |

| エラーコード | 異常内容           | (盤内における確認) |
|--------|----------------|------------|
| E039   |                |            |
| E040   |                |            |
| E041   | 集合玄関機 1        | 誤応答        |
| E042   | 集合玄関機 2        | 誤応答        |
| E043   | 集合玄関機 3        | 誤応答        |
| E044   | 集合玄関機 4        | 誤応答        |
| E045   |                |            |
| E046   |                |            |
| E047   |                |            |
| E048   |                |            |
| E049   |                |            |
| E050   | 管理室制御系統の短絡     |            |
| E051   | 集合玄関機系統の短絡     |            |
| E052   |                |            |
| E053   |                |            |
| E054   |                |            |
| E055   | 管理室制御系統の受信回路異常 |            |
| E056   | 集合玄関機系統の受信回路異常 |            |
| E057   |                |            |
| E058   |                |            |
| E059   |                |            |
| E060   |                |            |
| E061   | 系統 1 の短絡       |            |
| E062   | 系統 2 の短絡       |            |
| E063   | 系統 3 の短絡       |            |
| E064   |                |            |
| E065   |                |            |
| E066   |                |            |
| E067   |                |            |
| E068   |                |            |
| E069   |                |            |
| E070   |                |            |
| E071   | 系統 1 の受信回路異常   |            |
| E072   | 系統 2 の受信回路異常   |            |
| E073   | 系統 3 の受信回路異常   |            |
| E074   |                |            |
| E075   |                |            |
| E076   |                |            |
| E077   |                |            |
| E078   |                |            |
| E079   |                |            |

## ■故障機器遮断の設定と解除

管理室(通話映像/制御)盤での住戸内警報(故障含む)を住戸番号単位で遮断します。警報による音響および表示がおこなわれなくなります。ただし、火災・ガスもれ(換気)発報については遮断できません。

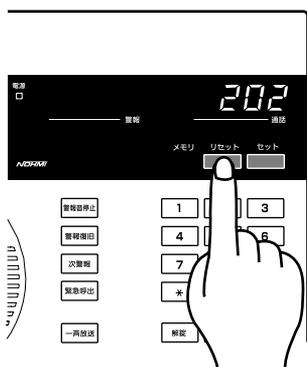


### (A) 設定方法

- 受話器を取り上げ、[#] 3と住戸番号をテンキーで入力します。
- 通話住戸番号窓の住戸番号表示を確認してセットボタンを押すと設定されます。  
(警報発生住戸番号窓に住戸番号を表示している場合は、消えることを確認してください)  
※一度設定すると、解除するまで遮断状態は続きます。  
(電源を切っても同じです)

### (B) 確認方法

- 受話器を置いた状態で、[#] を押し、つづいてセットボタンを押します。
- ◆遮断中の住戸番号が通話住戸番号窓に表示されます。  
※遮断中の住戸が複数ある場合は、次警報ボタンを押すことで、順々に表示されます。  
最後まで表示し終わった時は、『End』と表示されます。



### (C) 解除方法

- 確認後、通話住戸番号窓に住戸番号が表示された状態でリセットボタンを押します。
- ◆解除により、通話住戸番号窓に表示されていた住戸番号が消えます。  
※確認が不要な場合には、受話器を取り上げ、[#] 3と部屋番号をテンキーで入力し、リセットボタンを押すことでも解除できます。  
(警報中“故障”の住戸を解除した場合は、警報住戸番号窓に住戸番号が表示されます)  
※解除は1住戸ごとしかできないため、複数の住戸を解除する場合は、同じ操作を繰り返しおこなってください。

## ■機器定格

|              | 管理室通話映像盤<br>(1通話・1映像)                |                 | 管理室制御盤                | 管理室制御盤<br>(電源付)       |
|--------------|--------------------------------------|-----------------|-----------------------|-----------------------|
| 型名           | HCVNJ002-R-100                       | HCVNJ002-R-100K | HCNJ001-R             | HCNJ001-R-P           |
| 電源電圧         | AC100V±10%<br>50/60Hz                |                 | DC24V<br>(通話映像装置より供給) | AC100V±10%<br>50/60Hz |
| 消費電力         | 監視時:約20W<br>作動時:約50W                 |                 | —                     | 監視時:約6W<br>作動時:約11W   |
| 緊急地震速報<br>対応 | —                                    | 対応              |                       |                       |
| 通話方式         | (カラーモニター付住宅情報盤)自動交互通話<br>(集合玄関機)同時通話 |                 |                       |                       |
| 主材・色         | 難燃性ABS樹脂・オフホワイト                      |                 |                       |                       |
| 寸法           | 幅306×高460×奥行148mm                    |                 |                       |                       |
| 質量           | 約3600g                               | 約3620g          | 約2790g                | 約2850g                |

## ■ 日常のお手入れについて

- 本体の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れが落ちにくい時は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、よく絞ってから拭いてください。その際本機に水等がかからないようご注意ください。
- ベンジン、シンナーなどの薬品は、機器の表面を傷めたり、変色の原因になりますので使用しないでください。
- お手入れの際に受話器が確実にフックにかかっていること、また、カールコードが不自然にねじれていないことを確認してください。

**注意**

お手入れにはベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。  
機器の表面を傷めたり、変色の原因となります。



## ■ 定期交換部品について

内蔵されているスイッチング電源は、時間経過とともに劣化します。機器を適正な状態に維持管理していくために、5年ごとの定期交換を推奨します。

| 型名                                | 使用しているスイッチング電源 |
|-----------------------------------|----------------|
| HCVNJ002-R-100<br>HCVNJ002-R-100K | LCA75S-24      |
| HCNJ001-R-P                       | LCA15S-24      |

## ■ アフターサービスについて

この製品には2年間の保証が付いています。故障と思われる場合は、取り付け工事をした施工店もしくは、下記のお問い合わせ先へご連絡ください。機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

- 能美防災株式会社・CSサービスセンター TEL:0120-102-408
- 能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

修理を依頼される前に下記事項をご確認ください。

- ◆ 製品名(型名)・お買い上げ日(お取り付け日)
- ◆ 故障または異常の内容
- ◆ ご住所・お名前・電話番号
- ◆ 訪問ご希望日

※使用中、故障や誤動作、またはこれらの不都合により通話利用の機会を逸した場合の損害補償については、申し受けかねますのでご了承ください。

### [補修用性能部品について]

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、生産中止後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

**警告**

機器を分解・改造しないでください。  
感電・故障・発火の原因となります。



## **NOHMI** 能美防災株式会社

本社/〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL. (03)3265-0211 FAX. (03)3264-4465  
支社/北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695 新潟(025)243-8121 丸の内(03)3213-1781  
茨城(029)225-2600 千葉(043)266-0303 北関東(048)642-0147 西関東(042)627-4930  
横浜(045)682-4700 長野(026)227-5521 静岡(054)247-3211 名古屋(052)915-2411  
金沢(076)252-6211 大阪(06)6330-8661 京都(075)231-0128 神戸(078)334-3581  
広島(082)263-7334 岡山(086)244-4222 九州(092)712-1560 熊本(096)360-1051  
営業所/旭川(0166)35-7824 青森(017)729-0532 盛岡(019)645-0552 秋田(018)862-5086  
郡山(024)933-5580 福島(024)528-4195 上越(025)26-1886 羽田(03)5757-9393  
渋谷(03)3461-1051 杉並(03)3306-0451 城東(03)3626-2461 城北(03)5292-2137  
五反田(03)3779-9737 土浦(029)822-3851 宇都宮(028)637-4317 群馬(027)328-1567  
埼玉西(049)247-4640 川崎(044)233-5773 沼津(055)923-9669 浜松(053)473-3422  
岐阜(058)276-7761 三重(059)226-9860 富山(076)444-1450 福井(077)621-0056  
高松(087)862-6012 徳島(088)625-4325 松山(089)974-2823 北九州(093)551-2588  
長崎(095)845-0135 大分(097)543-2778 宮崎(0985)28-8792 鹿児島(099)253-8196  
沖縄(098)862-4297  
工場/三鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531